

川まつり開催報告 2015年5月31日（日）空堀川 かわまつり

「空堀川・川まつり」がからぼり広場にて開催されました。会場では川づくり関係者による活動紹介、消防による救命活動を体験する企画などが行われ、会場は多くの参加者で賑わっていました。中でも日体桜華高等学校による写真コンテストのコーナーでは、多くの家族や友人が相談しながら、自分の気に入った写真に投票していました。コンテストの写真には、カモの親子が並んで泳ぐ画像や、鳥が空堀川を泳ぐ魚を捕らえる瞬間の写真など、普段は目にする機会の少ないものもあり、川のさまざまな姿を上手に伝える企画となっていました。午後からは空堀川名物のカモレースが開催され、カモが川を下る様子に多くの参加者が歓声を上げていました。今年も大変盛り上がった空堀川・川まつりは、地域にとって人と川をつなぐ大切な機会となっていました。



イベントカレンダー

福岡河岸まつり

【開催日時】2015年8月22日（土）14時～20時（小雨決行）

【開催場所】新河岸川養老橋船着場 送迎用無料バス運行
（上福岡駅東口～ふじみ野市役所前～養老橋）

【予定内容】出店、散策コースを歩こうほか

①14時～16時 子ども広場

②14時～17時 園児による踊り、中学生の演奏、バンド演奏

③17時～20時 灯籠流し（灯籠の販売もします）太鼓演奏 花火を楽しもう

【問合わせ】新河岸川灯籠流し実行委員会代表 堀江 090-5535-3433



事務局だより

第1回連絡会、身近な川の一斉調査が開催されました

5月27日（水）に第1回新河岸川流域川づくり連絡会を開催しました。今年度開催を予定している第11回川でつながる発表会の開催時期や開催地を協議しました。また、法政大学水文地理学研究室の小寺教授より、身近な川の一斉調査において注意することや一斉調査の結果からわかることについて説明いただきました。

6月7日（日）に身近な川の一斉調査が開催されました。一斉調査では自由学園の水質・水量測定に同行しました。



身近な川の一斉調査のようす

川づくり連絡会に参加してみませんか？

新河岸川流域川づくり連絡会は、原則第2火曜日または第2金曜日で年4回程度開催します。参加希望の方は、下記連絡先までお問い合わせください。（開催場所はお問い合わせ時にお知らせします。）

しんぶん「里川」掲載情報を大募集します！

各流域や地域での活動報告やイベント情報を募集しています。身近な情報などをお手紙またはFAX・メールにて下記連絡先までお寄せ下さい。

■ 連絡先

新河岸川流域川づくり連絡会 事務局
（国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課内）
〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346
URL <http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/>

THE SHINGASHI BASIN NEWS

新河岸川流域しんぶん

発行●新河岸川流域川づくり連絡会（荒川下流河川事務所 調査課内）
住所●東京都北区志茂5-41-1 TEL03-3902-3220 FAX03-3902-2346
発行日●平成27年（2015）7月1日

VOL. 77



切り絵 毛利将範

目次

- P2～3 平成27年度年間活動予定
P4 連載：川まつり開催報告、イベントカレンダー、事務局だより
P5 特集：「水循環を推進するための計画を知ろう！」

ことし かわ きせつ
今年も川まつりの季節がやってきました。
なかめん しんがしがわりゅういき かいざい
中面では、新河岸川流域で開催される川まつり
しょうかい とくしゅう こんか はや しき かく
の紹介をします。特集では、今夏の早い時期に閣
ぎ けつてい め ざ みずじゅんかんきほんけいかく
議決定を目指している水循環基本計画について
紹介します。

川まつりの開催報告では、5月31日に開催さ
れた空堀川のようなすを取材しました。イベントカ
レンダーでは、毎年8月に開催される福岡河岸ま
つりの開催案内を掲載しています。

新河岸川流域

平成27年度 年間活動予定

平成27年4月～平成28年3月

国、都県、区市町、市民等に加え学識経験者と連携し、連絡会の目的達成に向けて、連絡会の運営、里川の発行、川でつながる発表会を開催します。また、流域内の各地で開催される川まつり【下記参照】などで、水循環再生を広めるためのパネル展示を実施していく予定です。

新河岸川流域川づくり連絡会の目的

- ① 官民各々が持つ新河岸川流域に関連した情報共有・意見交換
- ② 流域住民や行政の「いい川づくり」への理解・意識向上に資する情報提供
- ③ 新河岸川流域内で展開される「いい川づくり」に向けた取組みとの連携

平成27年	5月	第1回新河岸川流域川づくり連絡会
	7月	流域しんぶん「里川」77号発行
	8月	第2回新河岸川流域川づくり連絡会
	9月	流域しんぶん「里川」78号発行
	11月	第3回新河岸川流域川づくり連絡会
平成28年	11月	第11回川でつながる発表会
	2月	第4回新河岸川流域川づくり連絡会
	3月	流域しんぶん「里川」79号発行

開催日程

新河岸川流域 川まつり

1 落合川 (東久留米)

「第22回わくわく川清掃&川あそび～応援しよう 東北のまち～」

日時：< 前夜祭 > 7 月 18 日 (土) 16:00-21:00
< 川掃除 & あそび > 7 月 19 日 (日) 10:00-16:00
場所：落合川沿い 不動橋広場 (東久留米市浅間町 1 丁目地先)

● 内 容：< 前夜祭 > 模擬店、たいて演奏、ミニコンサート、東北の応援 (大槌町のふるさと納税・福島観光支援パネル展示等)、映画
< 川掃除&あそび > 午前：河川清掃 (落合川・黒目川) 東北の応援 (大槌町のふるさと納税・福島観光支援パネル展示等)、消防イベント
昼：たいて演奏、来賓等あいさつ、豚汁無料提供、河川水の放水等
午後：川あそび (水ガキ講座、タイヤボートのり、竹の一本橋渡り など)

● 主 催：わくわく川掃除&川あそび実行委員会
● 問合せ先：042-472-0882 または 090-2642-9442 (菅谷輝美)

2 東 川 (所沢)

「東川・川まつり (身近な川しらべ)」

日時：7 月 20 日 (月・祝) 9:00-12:00
場所：川端橋 (所沢市立東中学校前 (小雨決行))

● 内 容：さかな調べ、川の水調べ、水生生物調べ、川遊び (カヌー・ゴムボート) など
● 持 ち 物：(暑いので) 帽子、水筒、ぬれてもいい格好 (サンダル、ゴムぞうり は流されるのでダメ)
● 駐 車 場：東中学校
● 主 催：東川を愛する会
● 問合せ先：090-3310-8392 (手島)

3 柳瀬川 (清瀬)

「2015 きよせの環境・川まつり」

日時：7 月 26 日 (日) 10:00-15:00 川遊び受付 9:00 から
場所：清瀬市台田運動広場 (清瀬市下宿 1-1)、川遊び (柳瀬川河川区域)

● 内 容：< 川の中で > ボート遊び、いかだコンテスト
< 河畔で > 「おもちゃのとりかえっこ市」(使えるおもちゃが対象) 小型家電の収集
● 持 ち 物：運動靴 (サンダル不可)
● 申 込：いかだコンテストは事前申込が必要
● 主 催：きよせの環境・川まつり実行委員会
● 申込・問合せ先：042-492-5111 (清瀬市都市整備部水と緑の環境課)

4 柳瀬川 (志木)

「柳瀬川であそぼう」

日時：7 月 26 日 (日) 9:00-11:30
場所：志木中学校前の柳瀬川土手・河川敷 (志木市柏町 3-2-2) (雨天中止)

● 内 容：魚とり、水生生物調べ、川渡り など
● 持 ち 物：帽子、飲み物、川に入れる運動靴 (長靴、サンダルはダメ) ※アミはお貸しします。
● 参 加 費：200 円/家族 (会員・中学生以下は無料)
小学生は志木市在住で定員 20 名。7 月 15 日までに申し込み
● 主 催：NPO 法人エコシティ志木、埼玉県生態系保護協会志木支部
● 後 援：志木市教育委員会
● 問合せ先：〒353-0001 志木市上宗岡 1-5-1、048-471-2211 (志木市立教育サポートセンター)

5 北川 (東村山)

「第20回北山わんぱく夏まつり」

日時：8 月 2 日 (日) 10:00-16:00
場所：北山公園・北川 (小雨決行・雨天中止)

● 内 容：カヌー遊び、ザリガニ釣り、八国山ミニハイク、北川ウォーク、北川水族館、木工工作、出店など
● 主 催：第 20 回北山わんぱく夏まつり実行委員会
● 問合せ先：042-395-2584 (吉田)

6 黒目川 (新座)

「第17回わいわい川遊び『アユの棲む黒目川をきれいにして川で遊ぼう』」

日時：8 月 2 日 (日) 10:00-15:30
場所：栗原 1 丁目公園 (小雨決行・雨天中止)

● 内 容：水質調査、魚類調査、川掃除、水ガキ講座 (魚とり教室)、舟あそび (ゴムボートなど)、スイカ割り
● 主 催：黒目川流域川づくり懇談会
● 問合せ先：042-456-8869 または 090-6497-5737 (高邑)

7 不老川 (入間)

「第16回鳥になろう 魚になろう『大森の池まつり』」

日時：8 月 9 日 (日) 10:00-15:00
場所：入間市宮寺 大森調節池

● 内 容：カヌー乗り、魚・ザリガニとり、トンボ・バッタとり、水鉄砲づくり、ジャンボしゃぼん玉、出店 (地場野菜・パン・ジュース・焼きそばなど)
● 持 ち 物：水に入れる服装、レジャーシートなど ※水の中は、はだしでは入れません。古くなった運動靴などが良いようです。
● 参 加 費：100 円
● 主 催：大森の池まつり実行委員会、大森調節池の自然を守る会
● 問合せ先：090-8043-1757 (本多)

8 黒目川 (朝霞)

「黒目川・川まつり こどももおとなもハンディのある人もない人も」

日時：8 月 23 日 (日) 10:00-14:00
場所：新高橋下流左岸の河原 (溝沼郵便局横) (小雨決行・雨天中止)

● 内 容：水質調査、魚類調査、川掃除、水ガキ講座 (魚とり教室)、舟あそび (ゴムボート、カヌー)、ザリガニ釣り、スイカ割り
● 持 ち 物：川に入れる運動靴 (サンダル、長ぐつはダメ)、帽子
● 主 催：黒目川川まつり実行委員会
● 問合せ先：090-9311-7932 (藤井)

※日時・内容等は変更の可能性があるので、詳細は問合せ先に確認下さい。
※流域内ではこの他にも、さまざまな活動が実施されています。

新河岸川流域川づくり連絡会 事務局 (国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課内)

問合せ先

住 所：〒115-0042 東京都北区志茂 5-41-1
TEL：03-3902-3220 FAX：03-3902-2346 E-Mail：arage-shingashi@ktr.mlit.go.jp
URL：http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage_index044.html



みずじゅんかん すいしん

けいかく し

水循環を推進するための計画を知ろう！



水循環とは？

うみ、ねつ、くも、あめ、ふり、かわ、なが、ひと
海が熱せられ、雲ができ、雨が降り、川を流れ、人が
利用し、また川を流れ海に戻るという一連の流れのこ
とをいいます。この一連の流れは、山や川などをたどる
自然系のものと、人々の生活の中をたどる人工系のもの
に分けることができます。

健全な水循環を維持・回復することを目的とした法律
“水循環基本法”が昨年7月に施行されました。

今号では、水循環基本法の中で作成することとなつて
おり、現在検討が進められている水循環基本計画の原
案を紹介します。



授業がはじまるよ～！



《水循環基本法のポイント》

(里川75号のおさらい)

(1) 基本理念（第3条）

- ① 水は、水循環の過程において、地球上の生命を育み、国民生活及び産業活動に重要な役割
- ② 水が国民共有の貴重な財産であり、公共性の高いもの
- ③ 健全な水循環の維持または回復のための取り組みの推進
- ④ 流域として総合的かつ一体的な管理
- ⑤ 水循環に関する国際的協調

(2) 定義（第2条）

【水循環】水が、蒸発、降下、流下又は浸透により、
海域等に至る過程で、地表水、地下水として河
川の流域を中心に循環すること。
【健全な水循環】人の活動と環境保全に果たす
水の機能が適切に保たれた状態での水循環。

(3) 水循環基本計画（第13条）

政府は、水循環に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、水循環基本計画を定める。

(4) 水循環政策本部（第22条～第30条）

水循環に関する施策を集中的かつ総合的に推進するため、内閣に水循環政策本部を置き、当該本部の長には、内閣総理大臣を充てる。

(5) その他

- ① 年次報告（第12条） 国会報告
- ② 水の日（第10条） 水の日を8月1日

(国土交通省HPをもとに作成)

水循環基本計画の原案について

＜計画の目的＞

我が国の水循環に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図る

＜対象期間＞

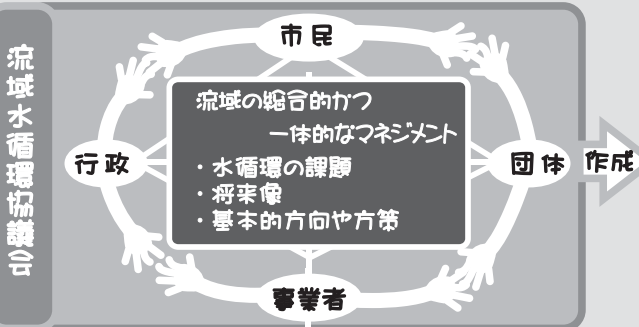
10年先を念頭におおむね5年ごとに見直しを実施

いろいろな人やグループが参加して計画を考えるんだね！！



7月9日（木）

日直 新河岸川 太郎



流域水循環計画の構成

- ① 現在及び将来の課題
- ② 理念や将来目指す姿
- ③ 健全な水循環の維持又は回復に関する目標
- ④ 目標を達成するために実施する施策
- ⑤ 健全な水循環の状態や計画の進捗状況を表す指標

※計画には上記事項を段階的に設定する。

支援

民衆の反映

国

- ・地域毎の目標設定のための手引きの作成
- ・優良事例などの事例集の作成
- ・その他必要な支援を実施

地方公共団体

- ・組織体制の整備やその他必要な措置を講じる努力を実施

市民

- ・協議会への参加
- ・アンケートへの回答
- ・シンポジウムへの参加など

- ・小学校・中学校・高等学校
- ・水循環に関する教育を推進

分科会（部会）

- ・漏水の対策
- ・地下化水マネジメント など
- ※地域の実情に応じて設置可能

地域の実情に応じて柔軟に設置できるんだね！！

良好な森林、河川、農地、貯留・涵養機能の保持を目指す

A1

いろんなメリットがあるけど、災害に強くなるね。
計画では大規模災害時の水の供給まで含まれており、
上水道施設におけるバックアップ施設や貯留施設の整備の推進、工業用水の生活用水への活用、災害応急
用井戸の利用推進が定められているんだよ。また、雨水を安全に流下させるために、みんなで協力して雨水貯留の推進していこうという記載があるね。

A2

毎年、6月に実施している「身近な川の一斉調査」では、水質・水量を調査をしており、重要な活動の1つといえるね。
現状を把握し、将来の目標を設定するためには、継続的な取り組みが大切なんだよ。また、計画の中では、こういった取り組みを表彰する制度があるんだよ。
みんな表彰目指して頑張ろう！



水質調査・水量調査

Q1 水循環基本計画ができるとことで、どんなメリットがあるの？

Q2 流域水循環計画を作る場合、新河岸川流域で現在取り組まれている中でどんな活動が重要な？